



# 学校だより

5月号  
横浜市立桜台小学校  
令和2年5月7日発行

## 凡事工夫

校長 小宮 健

3月3日から続いている一斉臨時休業が、春休みやステイホーム週間を経て3か月目に入りました。長期に渡り、本市及び本校の様々な対応や取組にご理解とご協力をいただき、深く感謝申し上げます。

この期間、学校で活動ができたのは3月25日の修了式と4月6日の入学式（1年生のみ）と7日の始業式での数時間程度でした。「日々、教室で学ぶこと」「思い切り運動すること」「友達と楽しく遊んだりおしゃべりしたりすること」「みんなでおいしく給食を食べること」など、当たり前に過ごしていた学校生活がどんなに尊いことであったのかを改めて実感する毎日です。

このような未曾有の事態の中、お子様はご家庭でどのように過ごしているでしょうか。

始業式のテレビ放送で、「健康で安全に過ごすことが、自分や家族、友達が一番大事な命を守ることにあります。手をよく洗う・うがいをたくさんする・部屋を換気する・人が多く集まる場所に行かない・好き嫌いをなくしっかり食べる・ぐっすり眠る…など、今自分ができることを頑張ってみましょう。やりたいことができなかつたり行きたいところへ行けなかつたりすることはとてもつらいですが、今はみんなで辛抱しましょう」と子どもたちに伝えましたが、休業がこれだけ長く続くと一層心配が募ります。保護者の皆様には、お子様がご家庭で辛抱している姿や一生懸命取り組んでいることをぜひ評価していただきたいと思えます。大人から褒めてもらうことは子どもにとって継続のモチベーションになっていくからです。

また、これまでも連休や長期休業前に子どもたちに指導してきたことですが、一日の生活のリズムを保つためには朝が肝心です。「定刻に起床して、朝の光を浴びる。顔を洗って歯を磨き、着替え、朝ごはんを食べる。といった日常の生活習慣を守る」いわゆる「早寝・早起き・朝ごはん」です。当たり前のことを徹底していく。それは一見変化がなく平凡なことですが、実は意味や価値のあることなのだと思います。そして学校生活という日常の当たり前が成立しない今だからこそ、「凡事徹底」を持続させるための「創意工夫」が必要なのではないでしょうか。知恵を出し合いながら「凡事工夫」の視点で取り組んでいきたいものです。

臨時休業期間中の学習保障として、各学年の学習課題やオリジナル教材、横浜市からの動画教材や「はまっ子学習ドリル」が本校のホームページから参照できますので、ご家庭での取組としてぜひご活用ください。（「ギザギ算」はゲーム感覚でご家族での競争なども楽しめると思えます）

緊急事態宣言の延長に伴い、通常の活動に戻るのはいつなのか、先の見通しが立たない不安を現時点で拭い去ることはできませんが、状況をしっかりと見つめ、分析し、限りのある時間をいかに有効なものにしていくかを探っていく1年になることが想定されます。地域や保護者を始めとする桜台小に関わるすべての方々のご理解とご支援を賜りながら、チーム力と柔軟な発想を生かして、この難局を皆様とともに乗り切っていきたいと思っております。今後も保護者の皆様への伝達や情報発信はメール配信とホームページへの掲載を通して随時行ってまいりますので、ご確認のほどよろしくお願いいたします。

皆様、どうぞ健康にご留意してお過ごしください。